

日本国際連合学会(JAUNS)ニュースレター 第6号

2001年12月22日発行

日本国際連合学会事務局

(住所が下記の通り変わりました)

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

中央大学法学部研究室内

☎ 0426-74-3162 F. 0426-74-3133

- ◎ JAUNS は日本国際連合学会の英文名称 (Japan Association for United Nations Studies)の略です。
- ◎ このニュースレターには、学会の活動や会員の皆様へのお知らせを掲載します。
- ◎ 学会へのご意見、ご質問などは、上記事務局へお寄せ下さい。

1. 明石理事長の再任と新役員を選出

6月9日に開催された理事会において、明石康理事長が再任されました。また、6月10日の総会で理事および監事が以下の通り選任されました。任期はいずれも2004年6月30日までです。

理 事：

明石 康	秋月 弘子	安藤 仁介	位田 隆一	猪口 孝
上田 秀明	内田 孟男	大泉 敬子	大芝 亮	大沼 保昭
小和田 恆	功刀 達朗	香西 茂	志村 尚子	高須 幸雄
田中 明彦	西原 正	波多野敬雄	広野 良吉	星野 俊也
松山 幸雄	薬師寺公夫	横田 洋三	渡邊 明夫	(以上 24名)

監 事：

波多野里望 山本 和 (以上 2名)

2. 新運営委員の選任

10月5日の運営委員会において、新運営委員が以下の通り選任されました。

明石康(理事長) 内田孟男 大芝亮(編集主任) 志村尚子(渉外主任)
広野良吉 星野俊也 山本和 横田洋三(事務局長) 渡邊明夫

3. 「国連日本人職員に関する分科会」の設置

10月5日の運営委員会において、「国連日本人職員に関する分科会」の設置が決まりました。弓削昭子会員を中心にメンバーを決め、早速活動を始めることになりました。

4. アフガニスタン問題に関する特別講演会の開催

10月27日(土)、国連大学において、国連学会と国連大学および国連難民高等弁務官(UNHCR)東京事務所の共催で、最近UNHCRアフガニスタン事務所から帰国された千田悦子さんによる「アフガニスタンを理解するための視点」と題する講演会が開催されました。国連学会の会員を含む200人を越える多数の出席者がありました。

5. 第四回研究大会の日程およびプログラムの概要

本学会の第四回研究大会は、2002年5月25日(土)および26日(日)の二日間、東京の国際連合大学(予定)で開催されます。共通テーマは、9月11日の大規模テロ事件を念頭に置いて、「国際社会に対する新たな脅威と国連」(仮題)とし、(1)国際法的分析、(2)国際政治学的分析、(3)国際経済学的分析、の三つのセッションを企画しています。また、第二日目の午後には、「大規模テロに対する国際社会の対応」(仮題)をテーマに、国際シンポジウムを計画しています。多くの会員の皆様の参加を期待していますので、今から来年の手帳に書き込んでおいて下さい。また、このテーマに関心のある学生や一般の人たちにも参加が認められますので、お近くの人達にもお声をおかけ下さい。

6. 新入会員仮承認

下記の方々の入会が、2000年10月5日の運営委員会において仮承認されました。入会は規約によりますと理事会の承認事項となっていますが、理事会が年1回開催(研究大会の際)を原則としているために、途中で入会を申し込まれた人については、運営委員会において仮承認する手続きをとっています。正式の承認は次の理事会で行われますが、事務手続上は運営委員会で仮承認された時点から会員として扱われます。なお、お名前は50音順で、敬称、ご所属等は略させていただきます。

鈴木 絲子	関 薫子	谷口 洋幸	中谷百合子	西海 真樹
西村めぐみ	原田 勝広	樋口 弘樹	渡邊 拓也	(以上 9名)

7. 退会者

2001年7月1日以降、下記の方々が退会されました。

久保明(お申し出により) 中川融(ご逝去)

8. 会費納入のお願い

このニュースレターとともに会費請求書が同封されている方は、至急ご納入下さいますようお願いいたします。本学会は会費を主な財源として運営されておりますために、皆様のご協力が不可欠です。なお、2年を越える長期滞納者に関しては、規約に従って退会をお願いすることがあります。よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

9. 事務局住所の変更

ニュースレターの最初にあるように、本学会の事務局の住所が変更されました。